

## あったかくして出かけよう。12月の環境サロン

環境サロンは、身近な環境問題などをテーマに、みんなで気軽に学びあえる場、語りあえる場です。一度だけのご参加も歓迎です。  
参加費…各回 200円 (高校生以下無料)

※サロン参加者には環境地域通貨「エコハ」2枚進呈!

### 第12回 環境サロン

「ぶっちゃけ ライフトーク」  
佐々木真人さん×浅野佑悠輝さん

と き：12月3日(木) 18:00～  
ところ：宇部市まちなか環境学習館銀天エコプラザ

“カンチューハイ”の芸名で囃家としても活動中のファンキー住職と、神社仏閣が大好きなスピ系シンガーソングライターとのコラボトークライブ。説法、歌、トークQ&Aを楽しみます。

### 第13回 環境サロン

「自然科学における世界観と、  
仏教の世界観との対比」  
薄井洋基 (神戸大学名誉教授)

と き：12月18日(金)18:00～  
ところ：新川ふれあいセンター

工学分野の研究教育活動を通して体得された「論理的、決定論的世界観」と、大学の運営に関わられた60歳代を通し、底流として培ちかわれた「論理を超越した仏教的慈悲の世界観」の対比をお聞きして、いまこれからの科学と心の環境問題について考えます。

### 第14回 環境サロン

今回はバスで行く出張「環境サロン」です!

「宮本常一の世界と、  
里山里海再生に取り組む人達」  
宮本常一記念館学芸員、浦上卓三さん  
石田俊文さん・福本卓雄さん・木下嗣生さん他

文化人類学者として知られる宮本常一の業績を学習し、その後、里山・里海の再生に取り組んでおられるグループの方々とお会いして、現場で直接話を伺い、意見交換をします。

と き：12月26日(土)  
7:50 宇部市役所前集合 19:00 同解散  
行き先：周防大島文化交流センターほか  
参加費：4,000円 バス代・昼食代・入館料等含む

—お申し込み—  
参加者の氏名・住所・年齢・連絡先を学習館  
Tel/Fax 0836-39-8110 へご連絡ください。  
12月19日(土)17:00まで必着

### まちなか銀天 おそうじ隊募集!

「まちなか銀天おそうじ隊」は、月に一度、まちなか環境学習館周辺や銀天街アーケードなどを掃除しています。メンバーはその日集まってくださった方。楽しくおしゃべりしながら、「まち」をちょっときれいにしませんか? 本年最後の開催は、

12月27日(日) 15:00から。

まちなか環境学習館前に集合です。

参加者には環境地域通貨「エコハ」2枚進呈!

宇部市まちなか環境学習館「銀天エコプラザ」には、環境関連図書もある学習室(無料)、使いやすい料金のミーティングルーム(大・小)あります。ご利用、ご見学をお待ちしております。



宇部市環境学習ポータルサイト 「うべっくる」

うべっくる

検索

<http://www.ubekuru.com>

宇部市のいろいろな環境学習拠点の紹介、環境関連のイベントのお知らせ等、随時更新しています。「銀天エコプラザ」の詳しい紹介もあります。

# 小野湖の水を守る会 ～小野オリーブの森創生計画～

小野湖の水を守る会も活動を開始してはや5年が経過しました。多くの皆様のご支援、ご協力で、会の発足目的である、水源である小野湖の水質を汚染する可能性のある施設（産業廃棄物最終処分場など）の設置を阻止するという事はこれまで2件とも達成することができています。多くの皆様のご支援・ご協力にこころよりお礼申し上げます。

しかしこの問題の根幹は、小野地区が疲弊することにあると考えています。これを解決することは大変大きな問題であり、国家的課題でもあります。私たちも小野湖の水を守る会を継続し、結果を出すには、金銭的、労力的資源を安定、継続して確保しなければなりません。小野地区でこのようなことができれば地域の活性化にもつながり、私たちの目的は達成することができます。

そのためには何をすべきかこの5年間考え、試行してまいりました。耕作放棄地を再生し、ソバ、大豆、かぼちゃ、スイカの栽培等です。しかしいずれも期待した結果は得られませんでした。天候に大きく左右され、失敗すれば来年まで収入なしです。その間外部団体から助成金をいただき、参加者から参加費を徴収し、ボランティアに頼って頑張ってきたりしましたが、安定した事業の継続は困難です。若い皆さんに希望を持って参加していただくためにも助成やボランティアに頼らない事業へ変革する必要があります。

その結果たどり着いたのが”小野オリーブの森創生計画”です。講習会への参加、小豆島視察、専門家の小野現地視察等準備もしてまいりました。

この事業のよいところは

- ①栽培が比較的容易  
(病気、害虫、鳥獣被害、労力等)
  - ②ものができれば売れる  
(オリーブ油は大部分が輸入品)
  - ③全てお金になる  
(葉っぱも、実も、幹も、木も、古木も)
  - ④年を経るとともに収入が増え、経営が安定する。
  - ⑤6次業化が比較的容易
  - ⑥雇用など地域の活性化に貢献できる。
- 甘いかもしれないが、今のところ夢のある事業と考えている。来年春から植え付けを始める計画である。興味のある方はぜひご参加ください。



## 環境歳時記 12月5日～9日 ロンドン・スモッグ事件(1952年)

イギリスのロンドンは首都であるとともに産業の中心で、産業革命以降急激に発展拡大を続け、19世紀初頭80万人余りだった人口は急激に増加し20世紀初頭には700万人を超えるところまでいった。

そしてその急激な発展は衛生、環境面に大きな問題を起こしていた。その一つが大気汚染であった。大小の工場だけでなく家庭でも熱源、暖房に石炭がもっぱら消費されていたが、その石炭は国内で取れたものであるが、品質の良いものは輸出用に回され、国内用には低品質の石炭が使われていた。その影響で冬季には常に薄いモヤが漂っており、「霧の都ロンドン」言われる所以であった。

そして時として大気汚染による呼吸器疾患等の健康被害を出しており、1950年代までの100年間に10回ほどの大きな被害を出した大気汚染災害が発生していた。そのもっとも大きな被害を出したのが1952年12月の場合であった。

この年の12月5日～9日にかけて高気圧が

イギリス上空を覆い、その影響で冷たい霧がロンドンを覆った。そしてあまりの寒さに市民は日頃以上の石炭を焚いた。それに加え、当時ロンドンの地上交通を路面電車からディーゼルバスに転換しており、家庭、工場、火力発電所、バスから排出される亜硫酸ガスなどの大気汚染物質は冷たい大気の層に閉じ込められて濃度を高めていった。

これら亜硫酸ガスを多く含んだスモッグは「黒いスモッグ」と言われ、あまりにも濃いスモッグで車は前方が見えず運転できないほどであった。特にロンドン東部の工業地帯・港湾地帯では自分の足元も見えないほどの濃さで人々は壁を伝って歩いていたとのことである。

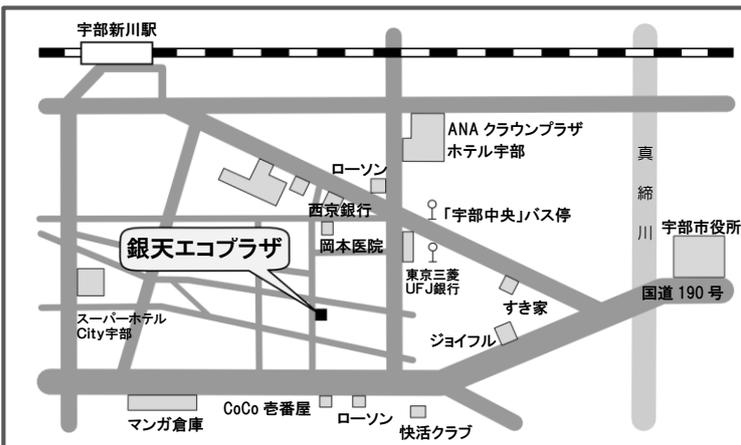
そしてスモッグは建物内にまで侵入し、コンサート会場や映画館では「舞台やスクリーンが見えない」との理由で上演や上映が中止されたそうである。この「黒いスモッグ」で人々は目の痛みや呼吸困難を訴え特に子どもやお年寄り、病人を直撃し、主に呼吸器系疾患により、5日から9日までの5日間で死者は約4,000人に達した。更に、この冬の期間全体では1万人以上に達した。

当時イギリスで測定していた大気汚染物質

は二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>)と総粉じんですが、死者が急増した期間の日平均濃度はSO<sub>2</sub>が0.7ppm、総粉じんは1.6mg/m<sup>3</sup>に達していた。ちなみに日本での環境基準は二酸化硫黄が1時間値の1日平均値が0.04ppm以下、浮遊粒子状物質が1時間値の1日平均値が0.10mg/m<sup>3</sup>以下で、いかに当時のロンドンの状況が深刻なものであったかが分かる。

この事件はイギリス政府に大きな衝撃を与え、ロンドン事件の解明のための委員会が設けられ、1953年には、報告が発表された。この報告によって1956年には大気清浄法が制定され、家庭からのばい煙も規制の対象となり、その他アルカリ法の対象とならない工場からのばい煙、自動車、汽船なども規制するものであった。これらの規制と石炭使用量の減少により、大気汚染は改善の方向に進みつつあったが、その後も1956年から1959年にかけて数度のスモッグ事件が発生し、通常よりも死者の数が増加している。

1968年には大気清浄法が改正され、規制が厳しくなり、規制地区における無許可燃料の販売を違法とするほどの徹底で、被害も収まってきた。(館長 西村 誠)



## 宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線：「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス：「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し (近隣の有料駐車場等をご利用ください)

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail info@ubekuru.com

開館時間 9時～21時

休館日 毎週火曜日、年末年始(12月29日～1月3日)